

# 新年 賀 謹



雪をまとった伯耆富士（大山）



# よなび

第616号  
令和6年1月発行  
電子版第73号

「地域と共に」

## 年頭の挨拶

第八普通科連隊長兼ねて米子駐屯地司令

阿部 正昭



米子駐屯地は本年、創設七十四年を迎えます。この間、隊員、ご家族、諸先輩、そして、地域の皆様とともに歴史と伝統を継承しつつ成長してまいりました。

国際情勢が厳しさを増し、気候変動等により大規模な自然災害が発生しており、また、新型コロナウイルスの感染拡大等を経験している中、私たちは地域の皆様に更に安心と安全を感じていただくことが重要と考えています。

このため、「また来たい米子駐屯地」を駐屯地ビジョンに掲げ、法と秩序を遵守した自由で開かれた米子駐屯地を目指して厳しい訓練に励みつつ働き方改革を行い勤務環境をより良く改善し、「米子駐屯地良い

な、また行ってみたい」と思われるよう取り組んでいるところです。

昨年は、各種防衛警備任務、災害対応のための訓練や米国における実動訓練への参加と国内外の任務へ対応しつつ、米子がいな祭といった地域の行事への参加・協力をを行う等、地域との連携を重視して隊務を運営してまいりました。本年もいづれも何なる任務を与えられようとも迅速かつ柔軟に対応できるよう、日夜練成に励むとともに、地域と共にある駐屯地として精進していきます。

我々に求められる能力は、刻々と変化しています。この変化に対応するために隊員それぞれの立場で自ら考えて行動することが求められます。

米子駐屯地は、自ら考えて行動できる元気の隊員とともに如何なる任務も意欲的に実行していきますので、引き続き変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます、年頭の挨拶といたします。

## 新年のごあいさつ

米子駐屯部隊協力会

会長 青砥 隆志



隊員ならびにご家族の皆様、明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

米子駐屯地は、昨年三月に第四十一代司令として着任された阿部司令をはじめ、歴代の司令のもと、

厳しい訓練を通じて精強な部隊を築き上げること尽力され、国民の生命と安全を守るという崇高な任務を遂行されていることに深く敬意を表します。

さて、旧年を振り返りますと、五月に新型コロナウイルス感染症が五類感染症に引き下げとなり、十月に開催された米子駐屯地創設七十三周年記念行事は三、九〇〇名もの来場者を迎え、大盛況となりました。また、部隊におかれましては日頃の活動はもとより、県内中高生への職場体験学習の受入れ、大山清掃ボランティア、米子がいな祭への参加など、地域への支援協力を積極的

に実施されたことにもあらためてお礼申し上げます。

自衛隊に求められる任務や役割は多様なものとなり、自国の防衛だけでなく、国際的な平和協力活動や大規模災害への派遣等、任務の重要性を認識され、精進されますことを願いたします。

我が国周辺の国際的な緊張が高まる中で、自衛隊の存在が我々の安心・安全を確保する上で益々重要なものになってきており、私ども協力会も地域の皆様に自衛隊に対する理解と更なる支援を層賜るために、引き続き努力を続けたいと考えております。

年頭にあたり、米子駐屯部隊の皆様のご活躍を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

いま、その一歩を踏み出すとき

# JAPAN PRIDE

## 自衛官募集

詳しくは自衛隊鳥取地方協力本部まで  
TEL: 0857-23-2251 または 鳥取PCO 検索

# 米国における実動訓練 ライズング・サンダー23



記念撮影

第八普通科連隊は、十月下旬から十一月中旬にかけて第十五即応機動連隊、第十四情報隊、第五対戦車ヘリコプター隊及び西部方面システム通信群等と協同しアメリカ合衆国ワシントン州ヤキマ演習場において諸職種協同訓練を行った。

ヤキマ演習場は、東京二十三区の約二倍という広大な面積を誇る演習場であり、主に国内では制限される各種装備火器の能力を最大限発揮した射撃訓練が行えることから、その米国の広大な訓練基盤を活用し各種装備火器の実弾射撃訓練等を実施した。

連隊は、本訓練において戦術技量の向上及び諸職種協同により一連の攻撃行動における作戦遂行能力向上を図る事が出来た。

連隊はこの貴重な訓練を糧として、今後いかなる任務にも対応すべく日々訓練に励み更なる強化に努めていく。



狙撃



現地における調整



訓練開始式



優秀隊員表彰



01ATM射撃



120mm重迫撃砲



選手宣誓 第3中隊 瀬川士長



命令下達



立姿による射撃



中間姿勢による射撃

## 連隊射撃競技会

連隊は、十二月中旬、米子射撃場において科目を小銃射撃として連隊射撃競技会を実施した。本競技会は、連隊の戦技能力の向上を目的として、連隊独自で実施しているものであり、その練度の維持・向上を図るものである。

各中隊に所属する隊員は、規定のタイム内に、立姿、中間、伏撃の各射撃姿勢において射撃を行い、命中数により個人の部・中隊対抗の部で争われ、日頃の訓練成

果を発揮した。その結果、各隊員が精度の高い命中率を見せた第一中隊が優勝した。

連隊は今後も各種競技会を通じて練度の維持・向上に努めていく。



観閲式



巡閲



観閲行進



観閲行進



追悼式の様子



追悼式

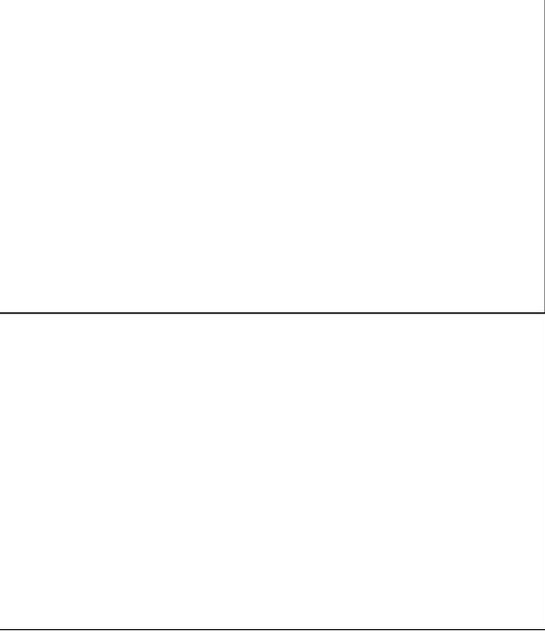
第八普通科連隊は、十一月二十六日に行われた第十三旅団創立二十四周年・海田市駐屯地創設七十三周年記念行事に参加した。連隊からは、連隊長以下七十名の隊員及び二十五両の車両が観閲式に参列し、海田市駐屯地において、威風堂々たる姿で招待者や訪れた来場者に第八普通科連隊の姿を披露した。また鳥取県旗も車両行進において披露され鳥取県の存在を大いにアピールし旅団記念行事に花を添えた。

前日、二十五日には追悼式が行

われ連隊からは連隊長、最先任上級曹長が代表して献花を行い、旅団管内の殉職隊員を追悼した。また、旅団隷下の各部隊でもそれぞれの駐屯地において同時に追悼式が行われた。

連隊は今後も第十三旅団の骨幹部隊となり、信頼される精強な部隊を目指して邁進していく。

## 旅団記念行事に参加



鳥取県旗の行進

# 積雪寒冷地部隊としての訓練始まる

第八普通連隊は、第十三旅団管内で唯一の積雪寒冷地部隊に指定された冬季装備を保有する部隊である。

毎年月上旬から二月下旬頃までその練度を維持・向上するためスキー訓練を行っている。また、広大な地域を担当する積雪寒冷地部隊であることからその重要性は極めて高い。

各中隊は部隊スキー指導官を中心として冬季訓練を行いスキー機動、積雪地における戦闘要領及び野外における宿営など様々な訓練を行い積雪寒冷地部隊としての練度向上に努めている。

更に、冬季戦技訓練隊を活動させ各種バイアスロンの競技に参加



スキー機動



部隊スキー指導官認定試験



冬季における戦闘（狙撃）



冬季における戦闘（小銃小隊）



バイアスロン射撃予習



バイアスロン大会の様子



新補職者教育

## 訓練始まる

し国民体育大会等にも出場している。バイアスロンとは、ウィンタースポーツにおける二種競技のことで、クロスカントリースキーとライフル射撃を組み合わせた競技であり冬季近代「種」と呼ばれる。

また、スキー指導者を育成する部隊スキー指導官養成訓練を毎年行い指導者の育成にも力を入れている。

その他にも、移動してきたスキー未経験の隊員や昨年入隊した隊員を対象として新補職者訓練を行いスキー技術の基礎を教育している。

大山きやらぼく保育園は「笑顔かがやく、たくましい、みんなとつながる子供を目指す」を子ども像としており、心と体を元気にする活動を年間通して行っている。園は、四季折々の身近な自然に触れ地域のボランティア活動や交流を多数取り入れている保育園であり、その活動の中でぜひ自衛隊を体験させて欲しいと保育園から要望をいただき今回初めてこの体験学習が実現した。

米子駐屯地は十二月二十九日、大山きやらぼく保育園（年長）の園児四十二名に体験学習を実施した。大山きやらぼく保育園は「笑顔かがやく、たくましい、みんなとつながる子供を目指す」を子ども像としており、心と体を元気にする活動を年間通して行っている。園は、四季折々の身近な自然に触れ地域のボランティア活動や交流を多数取り入れている保育園であり、その活動の中でぜひ自衛隊を体験させて欲しいと保育園から要望をいただき今回初めてこの体験学習が実現した。

十二月十日米子駐屯地において、島根・鳥取県の入隊予定者及び募集対象者に対し、地方協力本部が企画する募集広報の日を支援した。募集広報の日は、自衛隊に対する理解促進を目的として年間を通して行っており、今回米子駐屯地は駐屯地紹介、施設研修、体験喫食及び隊員との懇談を行った。施設研修においては、米子駐屯地に所在する第十三後方支援隊の整備工場や入隊後に教育隊で実際に使用する居室等を見学していただいた。

## 募集広報の日



ロープ体験



警務隊車両の展示・説明



ほふく前進展示の様子



ほふく体験

職場体験を積極的に行い地域との繋がりを大切にして地域と共に歩んでいく。

## 大山きやらぼく保育園

### 自衛隊を体験



教育隊の居室見学



教育隊訓練見学



体験喫食



隊員との懇談

